

施策の成果及び執行実績

国民健康保険特別会計

世帯数・被保険者の状況

平成24年3月末現在の国保の加入状況は、10,936世帯、19,646人で、市全体に占める割合は、世帯で47.99%、被保険者で34.94%となっている。

平成23年3月末との比較では、世帯で189世帯（1.70%）の減少、被保険者で617人（3.04%）の減少と微減している。

加入者の内訳をみると、一般被保険者18,153人に対し、退職被保険者1,493人となっている。

<参考>

平成24年3月末現在 市世帯数 22,787世帯 / 市人口 56,224人

平成23年3月末現在

国保加入世帯数 11,125世帯 / 被保険者数 20,263人

（被保険者数内訳： 一般被保険者 18,732人 / 退職被保険者 1,531人）

月別異動状況

（単位：人）

月	世帯数	全被保険者数	一般被保険者数	退職被保険者数
4	11,200	20,389	18,772	1,617
5	11,168	20,287	18,640	1,647
6	11,143	20,200	18,568	1,632
7	11,130	20,160	18,533	1,627
8	11,122	20,087	18,478	1,609
9	11,084	19,984	18,379	1,605
10	11,052	19,910	18,305	1,605
11	11,036	19,850	18,287	1,563
12	10,992	19,767	18,231	1,536
1	10,961	19,697	18,181	1,516
2	10,940	19,670	18,153	1,517
3	10,936	19,646	18,153	1,493
平均	11,064	19,971	18,390	1,581

施策の成果及び執行実績

保険税（料）の収納状況

平成23年度は、国民健康保険税の税率の引き上げを行うなかで、広報等でも国民健康保険の運営状況の周知を図り、納付への理解を進めた。

滞納繰越分に対しては、国民健康保険被保険者証の更新などの機会を捉え随時に納付相談へと繋げ滞納解消を促すとともに、差し押さえの実施やインターネット競売等の滞納処分を進めた。

収納率は、現年分で0.36%の減、滞納繰越分で2.55%の増、全体では前年度並みの収納率の維持となった。

また、不納欠損処分（15,479,424円）を行った。

平成23年度の収納状況（総計）

（単位：円）

内訳		調定額	収入済額	還付未済額	未納額	収納率（％） （前年度）
一般被保険者	現年度分	1,448,875,883	1,315,094,810	73,550	133,781,073	90.76 (91.10)
	滞納繰越分	637,159,674	111,653,703	0	525,505,971	17.52 (14.74)
	計	2,086,035,557	1,426,748,513	73,550	659,287,044	68.39 (68.33)
退職被保険者	現年度分	159,171,317	151,899,985	0	7,271,332	95.43 (96.03)
	滞納繰越分	20,516,867	5,007,152	0	15,509,715	24.41 (29.08)
	計	179,688,184	156,907,137	0	22,781,047	87.32 (88.46)
現年度分合計		1,608,047,200	1,466,994,795	73,550	141,052,405	91.22 (91.58)
滞納繰越分合計		657,676,541	116,660,855	0	541,015,686	17.74 (15.19)
保険税総計		2,265,723,741	1,583,655,650	73,550	682,068,091	69.89 (69.90)

療養給付費の状況

医療機関からの請求によるもので、平成22年度との年間支出額を比較してみると、一般被保険者分で137,768,426円、退職被保険者分で11,584,550円の減となっている。

施策の成果及び執行実績

月別（診療月）支払状況

（単位：円）

月	一般被保険者分	退職被保険者分	計
3	330,104,697	29,303,851	359,408,548
4	323,491,987	28,880,053	352,372,040
5	305,246,779	28,093,098	333,339,877
6	324,381,913	28,344,057	352,725,970
7	292,950,852	29,325,751	322,276,603
8	310,992,289	28,626,487	339,618,776
9	328,594,115	28,265,271	356,859,386
10	319,652,575	32,906,117	352,558,692
11	312,836,817	25,614,087	338,450,904
12	316,187,482	30,622,531	346,810,013
1	307,728,765	26,944,569	334,673,334
2	320,340,878	31,184,539	351,525,417
年間支出額	3,792,509,149	348,110,411	4,140,619,560
22年度支出額	3,930,277,575	359,694,961	4,289,972,536

療養費の状況

被保険者からの請求分で、柔道整復師・治療用装具等にかかるものを支払った。平成22年度との年間支出額を比較してみると、一般被保険者分で8,529,362円、退職被保険者分で467,485円の増となっている。

月別（診療月）支払状況

（単位：円）

月	一般被保険者分	退職被保険者分	計
4	9,522,587	254,170	9,776,757
5	3,398,388	292,879	3,691,267
6	3,684,579	244,771	3,929,350
7	3,858,561	464,840	4,323,401
8	4,292,351	350,948	4,643,299
9	4,196,747	312,727	4,509,474
10	4,429,468	341,660	4,771,128
11	4,267,659	246,664	4,514,323
12	4,221,594	337,939	4,559,533
1	3,880,385	251,117	4,131,502
2	3,334,517	270,897	3,605,414
3	3,582,581	203,574	3,786,155
年間支出額	52,669,417	3,572,186	56,241,603
22年度支出額	44,140,055	3,104,701	47,244,756

施策の成果及び執行実績

高額療養費の状況

1月の医療費が基準額以上のものに対して高額療養費を支払った。平成22年度との年間支出額を比較してみると、一般被保険者分で21,492,386円、退職被保険者分で4,735,693円の減となっている。

月別（診療月）支払状況

（単位：円）

月	一般被保険者分	退職被保険者分	計
4	37,521,958	2,597,101	40,119,059
5	33,374,885	4,115,479	37,490,364
6	35,183,977	3,431,130	38,615,107
7	30,760,510	2,935,489	33,695,999
8	35,593,332	2,859,833	38,453,165
9	26,234,810	5,266,669	31,501,479
10	33,983,900	4,369,067	38,352,967
11	38,421,019	3,454,767	41,875,786
12	35,616,654	4,179,807	39,796,461
1	32,838,013	2,803,781	35,641,794
2	35,046,392	4,169,857	39,216,249
3	36,715,728	3,557,920	40,273,648
年間支出額	411,291,178	43,740,900	455,032,078
22年度支出額	432,783,564	48,476,593	481,260,157

高額介護合算療養費の状況

年間の医療費と介護費用が基準額以上のものに対し、高額介護合算療養費を支払った。

支給件数 一般分 13件 退職分 0件

（参考 平成22年度 一般分 7件 123,120円 退職分 1件 17,948円）

出産育児一時金の状況

1産児につき42万円（産科医療保障制度未加入の場合等を除く。）を支給した。

支給件数 54件 （参考 平成22年度 62件 25,977,586円）

葬祭費の状況

死亡1件につき5万円を支給した。

支給件数 112件 （参考 平成22年度 141件 7,050,000円）

施策の成果及び執行実績

特定健康診査

平成20年度から生活習慣病の発症原因とされているメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防と解消を目的として、特定健康診査を40歳から74歳までの被保険者を対象に実施している。また、健診の結果、メタボリックシンドロームやその予備軍と診断された被保険者を対象とした特定保健指導を健康推進課で実施した。

受診者数 3,629人（対象者数 13,968人 実施率 26.0%） 速報値による。
（ 参考 平成22年度 実施率 25.6%）

特定保健指導事業

特定健康診査の結果をもとに、特定保健指導の必要な対象者を抽出し、希望者に対して保健師、管理栄養士が保健指導（積極的支援・動機付け支援）を行った。

	平成22年度				平成23年度			
	対象者数	利用者数	終了	脱落	対象者数	利用者数	終了	脱落
積極的支援	163	6	4	2	176	2		
動機付け支援	407	12	11	1	400	16		
合計	570	18（利用率3.16%）			576	18（利用率3.13%）		

生活習慣病予防対策支援事業

特定健康診査未受診者に対して、受診勧奨通知の発送と、受診勧奨のための教室と、生活習慣改善のための健康教室を外部委託で実施した。

1)健康意識向上のための健康教室

平成20、21、22年度の特定健診の継続未受診者を対象に生活習慣病予防に関する正しい知識の普及、特定健診受診率向上のため、健康教室を実施した。

- ・参加者数：延べ121人
 - ・内容： 集団健康教育 3回、個別面接 1回
- 教室後、特定健診受診につながった割合 31.3%

2)特定健診受診率向上のための健康教室

食生活改善推進員、運動推進リーダー、こころの健康づくりリスナー登録者、健康志摩21ワーキングメンバーである被保険者対象に受診率を向上させるため、参加者自身の健診受診意識や家族知人への波及効果を期待し健康教室を実施した。

- ・参加者数：延べ63人
- ・内容：集団健康教育 2回 教室後、特定健診受診につながった割合 35.7%

施策の成果及び執行実績

食育推進事業

市民の健康づくりを支援するため、食生活改善推進協議会の協力を得て料理教室を開催した。

・料理教室実施状況

教室名	回数(回)	参加者数(人)
食事のとり方講座	2	38
食事のとり分け講座	1	14
バランスのとれた料理 (食生活改善推進協議会に委託)	5	94

特定健康診査受診対策事業

市が実施している、がん検診等受診者のうち、市の国民健康保険加入者の個人負担金を無料化することにより、同時期に実施している特定健康診査の受診率向上を図った。

検診種類	対象年齢	国保加入者の受診者数(人)		
		個別	集団	合計
肝炎ウイルス検診	40歳以上	62		62
胃がん検診	40歳以上	542	134	676
子宮頸がん検診	20歳以上		266	266
乳がん検診(マンモグラフィ)	40歳以上	40	274	314
乳がん検診(エコー)	30歳以上	46	103	149
肺がん検診	40歳以上		521	521
大腸がん検診	40歳以上	672	279	951
前立腺がん検診	50歳以上	625		625

運動推進事業

運動習慣の少ない年代に着目した研修会等を経年的に実施し、健康づくりとして運動に取り組む市民の増加を図った。

1) 運動推進リーダーフォローアップ研修会

地域で健康づくりのための運動を推進していくリーダーとして志摩市で育成した運動推進リーダー個人の技術の向上を図るため研修会を実施した。またディスカッションによりリーダーとしての活動方針等について協議した。

- ・参加者数： 延べ 147人
- ・内容： 研修会 2回
連絡会議 1回

施策の成果及び執行実績

2) 健康体操ふれあい志摩

運動自主グループのモチベーションを維持し、活動を継続していけるよう活動発表会を開催し、また市民が運動に取り組むきっかけ作りとなるようウォーキングと体操の講習会を実施した。

- ・ 参加者数： 延べ 130 人
- ・ 内容： ウォーキングエクササイズ
親子で体操
志摩市オリジナル体操講習会
運動グループ活動発表会

健康体操ふれあい志摩運営委員会

- ・ 出席者数： 延べ 29 人
- ・ 内容： 健康体操ふれあい志摩の内容、担当等について協議（2回）

3) ウォーキング教室

誰でも取り組むことのできるウォーキングを、三重大学教育学部准教授による講座とグループワークの1コース2回シリーズとして、阿児・磯部の2地区で実施した。

- ・ 出席者数： 延べ 48 人
- ・ 内容： 講習会（2回）
グループワーク（2回）

地区運動組織活動支援事業

志摩市で養成した運動推進リーダーが中心となって各地区で活動している運動グループを支援することにより、運動の継続を図った。

1) 体力測定

自身の身体の状態を知り、運動の効果を判定するため各地区で体力測定を実施した。

- ・ 参加者数： 延べ 140 人
- ・ 内容： 体力測定（8回）
（10m歩行、体前屈、片足立ち、起き上り、座り立ち、握力）
血圧測定等（希望者）

施策の成果及び執行実績

2) 学習会

運動グループメンバー及び市民への運動に関する知識の普及と運動の啓発のために研修会を実施した。

- ・ 出席者数： 203 人
- ・ 内容： 熱中症予防（3回）
 バランスボールを使った体操（1回）
 ストレッチの基本（1回）
 オリジナル体操作成（5回）
 ストレッチ・筋トレ、体操の基本等（4回）

3) 運動自主グループ活動支援

地区で活動している運動グループを支援することにより、継続して運動を実施できるよう図った。

- ・ 参加者数： 10,613 人
- ・ 内容： 健康チェック、保健指導、活動への助言等（21グループ）
 健康体操（774回）
 ナイトウォーキング（116回）

大王健康管理センター施設管理費

大王健康管理センター施設管理を行った。

- ・ 主な施設修繕
 浄化槽ブロワの故障による交換修理が必要であったため実施した。

大王健康管理センター保健指導事業費

成人健康相談事業と運動推進事業の一つとしてウォーキング講座（夜間開催）を実施した。また、市民の健康管理のため、自動血圧計を1台購入し、設置した。

実施回数4回（大王地区2回・志摩地区2回） 参加人数延72名

直営診療施設勘定繰出金

国保特別会計で受け入れた志摩市民病院及び浜島診療所の施設整備等に係る交付金相当額を病院事業会計へ繰出した。